

# ソフト界面研修コース 「表面力・ずり測定法」

2010年8月16日～18日

東北大学栗原研究室

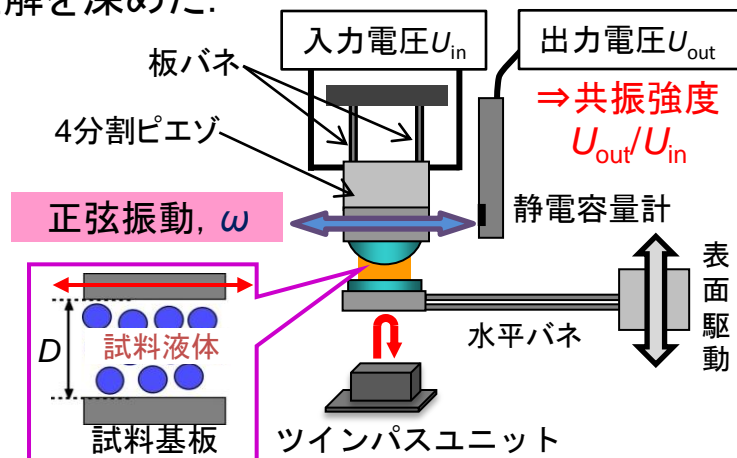
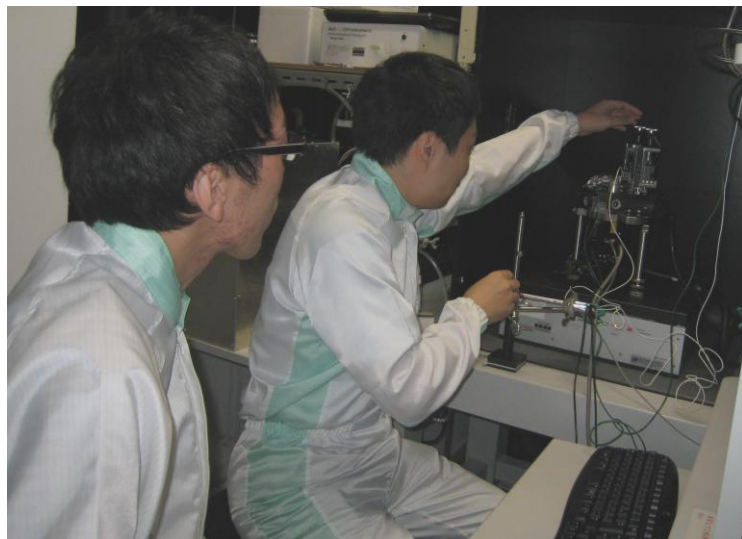


## 講義

本研修に参加した3グループ5名の本領域の研究者(東大、九大、筑波大)に対して、実習を始める前に、表面力・共振ずり測定を用いたソフト界面の評価について講義・議論を行った。特に、各参加グループから提案された測定対象について、本測定に適した試料表面の準備ができるか、詳細な議論した。

## 表面力・共振ずり測定

上記の議論から、もっとも試料準備が容易と考えられたPEG吸着表面について、SPRにより吸着を確認後、水を挟んで表面力・共振ずり測定を行ない、立体斥力や粘性の表面間距離による変化を評価した。測定データを参加者で共有して議論を行ない、本測定により評価できるソフト界面の特性に関する理解を深めた。



ツインパス型表面力・共振ずり測定装置